日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2022.1.04
No.22-002

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

内外の団結強化で解雇争議の解決へ

JAL 被解雇者労働組合より カンパのお礼状届く

「日本航空 OB 乗員有志の会」の皆様へ

2021 年も年の瀬を迎え、連日のように新型コロナウイルス・オミクロン株の市中感染拡大が報じられています。OB 乗員の皆様も感染防止対策などで例年とは様相の異なる年末をお過ごしの事と存じます。

さてこの度は、私たち「JAL 被解雇者労働組合（JHU）」に対し 50 万円のカンパをお寄せいただき誠にありがとうございます。「OB 乗員有志の会」の皆様をはじめとする支援者の方々からの支えを得て、JAL 解雇争議の早期全面解決を目指す JHU の闘いを力一杯進めて行くことが可能となっています。改めて厚く御礼を申し上げます。

JAL は破綻以降、訓練生 397 名以上を新規採用しながらパイロット 81 名の一人も原職復帰させていません。客室乗務員についても 6205 名以上を採用しながら 84 名を戻していません。さらには現場乗員の強い反発がある中で外国人を含む既成乗員の採用も開始しようとしています。165 名の解雇は一体何だったのかが厳しく問われなければなりません。

11 年前の解雇は、削減目標人数を超過達成し、更生計画の 3 倍に及ぶ営業利益を上げる中での、憲法違反を伴った不当解雇でした。また、被解雇者には産別団体・労働組合の現役役員及び役員経験者が数多く含まれていました。私たちは改めて、解雇の狙いが「安全よりも利益優先」の会社方針に正面から「物言う労働者の排除」と「労働組合の弱体化」にあったことを再確認する必要があります。

2018 年 4 月に就任した赤坂社長は「出来るだけ早期に解決したい」と発言しま

したが、すでに 3 年 8 ヵ月が経過しようとしています。まもなく 12 年目を迎える JAL 不当解雇撤回の闘いは、会社との交渉だけではなかなか思うような進展が期待できない膠着状況が続いています。

こうした状況下で、私たち JHU は局面打開のため、JAL を指導・監督する立場の国土交通省にも解決責任を求め、交渉を拒否する国交省に対し、都労委に不当労働行為救済申立を行いました。都労委への取り組みを通じて、国の関与の下で実行された 165 名の解雇が如何に「理不尽な解雇」であったかが改めて浮き彫りになっています。

私たち JHU は、JFU、CCU とも協力、補完し合いながら、不当な解雇を跳ね返し、早期全面解決するまで粘り強く闘う決意です。引き続きご支援とご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

2021 年　12 月吉日

JAL 被解雇者労働組合（JHU）
委員長　山口　宏弥

JHU 報告資料１２月２７日参照

皆さん　2022 年も
カンパ・取り組み参加
お願い致します

OB 乗員有志の会：カンパ振込先

今後の日程

＊宣伝行動・各地集会：私たちはあきらめない!!!

原告団 HP 日程参照

JAL 被解雇者労働組合（JHU）ＨＰ参照

＊山口 宏弥氏 著書紹介：「安全な翼を求めて」

アマゾン書評

・詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。